

宮崎大学白菊会設立趣意書

心身共に健全に生きるということ、それは、すべての人々の願いであります。

さて本県に国立医科大学を、昭和 49 年 4 月開校を目標に準備が進められておりますことは、地域医療の向上ひいては社会福祉の向上にも、きわめてよろこばしいことでもあります。

最近の医学・薬学等の著しい進歩によって不治といわれていた病気も大幅に治癒が可能となりました。しかし原因不明の先天性疾患や難治の慢性疾患も多く、医療は高度化し、内容は複雑化して医学への期待は益々大きいものがあります。その医学の基礎的研究の中心に解剖学がありますが、これは医学生たちにとって、絶対に必要不可欠のものであります。

ところが、この大切な解剖学実習に欠かすことのできない解剖体の確保は、事実上極めて困難な現状にあります。

このときにあたり、死後自分の遺体を正常解剖のために寄贈する我々同志、相集まりはかって医学促進のため率先して自らの遺体を研究資料として提供すべく本会を設立した次第であります。ここに、本会の趣旨を述べ、賢明な各位のご理解をいただき本会に入会くださることを切望いたします。

昭和 49 年 2 月 8 日

発起人	福 田 甚二郎
	荒 武 倉次郎
	山 田 美 義
	橋 本 宏
	山 下 久
	斉 藤 卓 治
	大宮司 国 男
	片 山 裕 子

1. 宮崎大学白菊会とは

本会は生前に「自分の遺体を宮崎大学医学部に献体すること」を約束している人の集まりで、昭和49年2月8日に「宮崎医科大学白菊会」として発足しました。その後、平成15年10月1日の宮崎医科大学と宮崎大学との統合に伴い、『宮崎大学白菊会』と会名を変更し現在に至ります。

献体を通して医学教育に必要不可欠な解剖学の教育・研究ひいては良医の養成に寄与することが、私たち宮崎大学白菊会の願いです。

～ 献体のこころ ～

私たちが献体登録をするのは、
医学教育に参加することで「私たちのための良い医者」を
世の中に送り出して欲しいと願うからです。

私たちが特典も報酬を求めないのは、
それが「**献体の精神**」であり、
献体によって本当の良い医者が生れると信じるからです。

私たちは医学の恩恵に報いることができるという
大きなよろこびを満喫して天寿を全うしましょう。

そして、献体を全うするために
家族と仲よくし地域の人と仲よくし、
愛される者となりましょう。

2. 宮崎大学白菊会の入会手続きについて

宮崎大学白菊会の趣旨に賛同し、「献体の精神」をもって会員になることを希望される方は、下記、白菊会事務局にご連絡下さい。担当者が『入会に際しての条件』等についてご説明申し上げます。

TEL: 0985 - 85 - 1534 宮崎大学白菊会 事務局
受付時間：平日 9時00分～16時00分

『入会に際しての条件』は、献体されるご遺体を大学が安心して受入れ、ご遺族と大学のトラブルを未然に防ぐためにも、極めて重要な確認事項になります。

『入会に際しての条件』

- ・ご本人の意志で、入会を希望していること
- ・献体することに、ご家族[※]全員の同意が得られていること
 - ※ 少なくとも3親等以内のご家族と、その他のご親族に特に同意を必要とする方がいらっしゃいましたら、その皆様の同意を得ていることが条件となります
- ・ご遺骨の引取者を決めていること
- ・現在、感染力が強いご病気に罹っていないこと

< 献体をお断りしている主な感染性疾患 >

- ・ B型肝炎、またはB型肝炎に起因する肝硬変や肝癌
- ・ C型肝炎、またはC型肝炎に起因する肝硬変や肝癌
- ・ HIV感染症、エイズ
- ・ HTLV感染症、ATL（成人T細胞白血病）
- ・ 活動性のある結核（とくに粟粒結核）

以上の条件を確認できました入会希望者に、宮崎大学白菊会「入会申込書」をお届けしております。

● 入会申込書の審査と受理について

お手元に届きました入会申込書に必要事項をご記入の上、白菊会事務局までご返送下さい。入会申込書を受領後、入会要件に関する審査を経て、問題がなければ入会が受理されます。審査には数日を要しますが、この審査期間は未だ入会が成立しておりません。入会は審査後の「受理」をもって成立することを予めご了承下さい。

なお、入会申込書に記載漏れ等があり、加筆・修正をお願いする場合には受領後 10 日以内にご連絡を差し上げます。

『入会申込書の必須記入項目』

・入会希望者本人の

署名・捺印、生年月日、住所、電話番号

・ご遺骨をお引き取りになる献体同意者の

署名・捺印、生年月日、希望者との続柄、住所、電話番号

・献体同意者の

署名・捺印、生年月日、希望者との続柄、住所、電話番号

(遺骨引取予定者とは別に、2名以上の献体同意者が必要となります)

* 入会申込書記入時の注意事項

- ・ 本人欄は必ず入会希望者本人が、同意者欄は同意者本人が記入して下さい。
- ・ 特別な場合を除き、代筆により作成された入会申込書は受理できません。
- ・ 障害等で入会希望者本人による記入が困難な場合は、白菊会事務局にご相談下さい。

【ご注意】

入会金・会費は不要です。また会員にお金を要求することは一切ございません。

● 入会後のご案内

- ・宮崎大学白菊会にご入会された方には「会員証」と「献体バッジ」をお送りします。
- ・会員証は携帯用の名刺サイズと A4 サイズの 2 種類があり、白菊会番号（登録番号）が記載されています。
- ・会員証と献体バッジがお手元に届くまで一ヵ月ほどお待ちいただきますが、入会申込書が受理されていれば、会員登録は完了していますので安心してお待ち下さい。
- ・宮崎大学白菊会の活動報告や連絡事項、会員の投稿文などを掲載した会報誌『しらぎく』を年一回発行しています（毎年 12 月頃、会員の皆様に郵送されます）。是非、ご覧いただくと共に、皆様からのご投稿をお待ちしております。
- ・献体の理解を深めていただくことや、会員の親睦を図ることを目的として白菊会総会（5 年毎）ならびに各地区懇談会（地域別・2 年毎）を開催しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

3. 献体の手続きについて

会員がお亡くなりになられますと、ご遺族は会員が生前に表わされていた崇高なご遺志にもとづいて献体手続きを行うこととなります。

大切な方を亡くされ、動揺される感情を抑えられないままご連絡を下さるご遺族がいらっしゃいますが、急いで献体の手続きをされる必要はございません。ご遺族の気持ちが落ち着かれてから、献体の手続きに入ることをご遺族の皆様でご確認いただき、下記項目をご準備の上、大学にご連絡を下さい。

・ご遺体を搬送する葬儀社を決めておく

ご葬儀の有無に係わらず、宮崎大学医学部にご遺体を搬送する葬儀社を決めていただく必要がございます。ご遺体はお棺に入れて搬送するため、そのお棺の用意も必要となります。なお、お棺代はご遺族のご負担となりますので、予めご了承下さい。

・死亡診断書を用意する

死亡診断書は通常、死亡届の右側にあり、死亡を診断した医師に記載していただくことになります。献体受付に際して、死亡診断書に記載される死因、死亡時刻等が必要となります。なお、死亡診断書に代わり「**死体検案書**」となっている場合は、献体手続きの際にその旨を必ず大学担当者に伝えてください。

献体は亡くなられた会員のご遺族のご理解とご協力なくしては果たされません。会員が亡くなられてから、生前に献体を希望していたことを知って驚かれるご遺族も少なからずいらっしゃいます。献体を実現させるため、会員の皆様は今一度、ご家族と献体についてよく話し合い、ご理解を得ておかれるようお願いいたします。

● 献体の連絡と受付について

会員がお亡くなりになった後、献体の手続きをされる連絡先

【大学勤務時間内】

平日 8時30分～17時15分

『宮崎大学医学部 解剖教育支援室』

〒889-1692 宮崎市清武町木原 5200

電話：0985-85-1363 （献体専用）

【大学勤務時間外】

平日 17時15分～翌8時30分

及び土曜、日曜、祝祭日、年末年始の終日

『宮崎大学医学部 事務局』

電話：0985-85-1220 （事務当直室）

注) 会員がお亡くなりになったときの連絡先は、宮崎大学白菊会ではありません。

大学に献体のご連絡をいただきますと、引き続いて、亡くなられた会員のご遺体を献体としてお預かりするために必要な手続きに入ります。なお、感染症の罹患等により残念ながら献体をお断りすることもございますので、巻末に記載の「献体をお断りする場合」をご参照の上、予めご了承下さい。

4. 解剖体追悼式について

宮崎大学では例年 10 月第 4 水曜日の午後に**解剖体追悼式**が執り行われます。解剖体追悼式のご案内は 9 月頃、遺骨引取書に記されたご遺族宛に送られます。

(10 月以降に献体された会員のご遺族には、次年度の解剖体追悼式のご案内となります)

なお、解剖体追悼式は解剖学のためにご献体下さった方と、病理解剖にご献体下さった方との合同追悼式となりますことを申し添えます。

5. 火葬について

献体としてお預かりした尊いご遺体は、解剖学の教育と研究に貢献いただいた後、『宮崎市葬祭センター』にて火葬されます。宮崎大学では火葬を医学教育の一環と捉え、教職員の指導の下で解剖を担当した学生が感謝の意と責任をもって収骨されています。**ご遺族が火葬に参列することはできません**ので、予めご了承下さい。

6. 遺骨返還式について

ご遺骨は例年 11 月に執り行われる**遺骨返還式**でお返しされます。詳しいご案内は前述の解剖体追悼式同様、遺骨引取書に記されたご遺族宛に送られます。

遺骨返還式ではご遺骨の返還と合わせて、「文部科学大臣感謝状」と「医学部長感謝状」が贈呈されます。

ご都合により遺骨返還式にご参列できないご遺族には、あらためて調整した日時に大学へお越しいただき、個別にご遺骨が返還されます。

なお、献体された時期によりまして、ご遺骨の返還までに 2 年から 3 年ほどお待ちいただくこととなりますが、予めご了承下さい。

7. 結びに

宮崎大学白菊会の会員としての真の意義は、献体された尊きお身体が医学教育の礎をなす解剖学教育ならびに研究に多大なる貢献を果たした時に、はじめて生じるものと考えます。

一方で、献体は会員ご自身の志だけでは決して成し遂げられないもので、ご家族やご親戚はもとより、会員に係わる全ての方が献体の主旨を理解し、賛同することによって、会員の志は現実のものとなるのです。

医学の発展に貢献する喜びを共に分かち合える宮崎大学白菊会会員が益々増えていくこと、会員が皆、天寿を全うし成願できることを心より祈念いたします。

***** 連絡先のご案内 *****

入会希望ならびに会員の住所変更等に関する問い合わせ先

『宮崎大学白菊会 事務局』

〒889-1692 宮崎市清武町木原 5200

受付時間：平日 9 時 00 分～16 時 00 分

電話：0985-85-1534

会員がお亡くなりになった後、献体の手続きをされる連絡先

【大学勤務時間内】

平日 8 時 30 分～17 時 15 分

『宮崎大学医学部 解剖教育支援室』

〒889-1692 宮崎市清武町木原 5200

電話：0985-85-1363 （献体専用）

【大学勤務時間外】

平日 17 時 15 分～翌 8 時 30 分

及び土曜、日曜、祝祭日、年末年始の終日

『宮崎大学医学部 事務局』

電話：0985-85-1220 （事務当直室）

～ 献体をお断りする場合 ～

宮崎大学白菊会の会員の方でも、やむを得ない理由によって、献体をお断わりすることがございます。予めご了承下さい。

1. ご遺体を大学で預かるために必要な手続きができない

- ・ 白菊会入会申込書に記載される同意者および親族が一人もない場合
入会申込書の同意者欄に記入されていない「親族以外の第三者（知人・友人など）」は、解剖承諾書の記入者および遺骨引取者として認められません。
- ・ ご遺骨が引き取られない場合
ご遺骨が引き取られないご遺体は、お預かりできません。
- ・ 献体に同意されないご遺族がいる場合

2. ご遺体を保存できない

- ・ ご遺体が傷んだ状態にある場合
死後経過時間および献体までのご遺体保存（保冷）状態に関係します。
- ・ 交通事故などの外傷により亡くなられた場合
ご遺体を保存する処置が困難なため、お預かりできません。
- ・ 手術中または手術直後に亡くなられた場合
ご遺体を保存する処置が不完全になる恐れがあるため、お預かりできません。

3. ご遺体から感染する恐れがある

教職員および医学生への二次感染を回避するため、献体をお断りいたします。残念ですがどうかご理解ください。

＜献体をお断りしている主な感染性疾患＞

- ・ B型肝炎、またはB型肝炎に起因する肝硬変や肝癌
- ・ C型肝炎、またはC型肝炎に起因する肝硬変や肝癌
- ・ HIV感染症、エイズ
- ・ HTLV感染症、ATL（成人T細胞白血病）
- ・ 結核（とくに粟粒結核）

4. その他

- ・ お亡くなりになってから臓器提供された場合

臓器提供のドナー登録をされていても、宮崎大学白菊会に入会することはできませんが、お亡くなりになった時に臓器提供か献体のいずれかをご選択いただく必要がございます。

- ・ 宮崎県外で亡くなられた場合
- ・ 自殺により亡くなられた場合

その他、ご不明な点につきましては、白菊会事務局（TEL：0985-85-1534）または宮崎大学医学部解剖教育支援室（TEL：0985-85-1363）にお問い合わせ下さい。